



施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	030	交通安全の推進				
総合計画	基本目標	II	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	基本施策	04	交通安全・地域安全の推進			
めざす姿	自転車駐車場や交通安全施設等が整備され、交通安全のルールや正しいマナーが浸透しており、市民が安心して快適にまちを散策できる環境が確保されています。					
SDGsとの関連	 					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	339,553,000	399,316,000	400,208,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	55,000	55,000	50,000			
市債	0	0	0			
その他	64,347,000	106,224,000	178,884,000			
一般財源	275,151,000	293,037,000	221,274,000			
予算現額	339,759,000	422,565,000	0			
決算額	326,646,652	388,994,855	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	66,000	46,000	0			
市債	0	0	0			
その他	61,604,499	112,462,349	0			
一般財源	264,976,153	276,486,506	0			
執行率	96.1	92.1	0.0			
(人件費)						
職員数	5.91	7.53	0.00			
職員人件費	46,324,985	60,217,111	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,095,292	1,534,894	0			
総コスト	374,066,929	450,746,860	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 放置自転車数	123	実績	78	-	-	-	60
		達成率	130.0	0.0	0.0	0.0	
② 交通事故発生件数	315	実績	288	-	-	-	288
	件	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	交通事故は減少傾向にあるものの、高齢ドライバーの交通事故やあおり運転などが社会問題化しており、依然として交通安全への取組は求められている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
		警察や交通安全協会と協働で各種啓発事業を実施し、市民に対し交通安全について考え、確認していただくことが事故の減少に繋がっている。	
国・都の政策	道交法の改正による自転車用ヘルメットの着用努力義務化や、電動キックボードの公道走行が可能となるほか、自転車の取締り強化等が行われている。		
市民ニーズ	自転車のルール、マナーについての要望が寄せられることから、更なる啓発を求められている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	駅周辺自転車対策事業		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 自転車放置台数	123	計画値	90	80	70	60	60	1	2	3	4	5	6	7	8
	台	実績	78	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		放置台数は概ね減少傾向にあると考えられるが、今後の調査結果を注視していく。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	自転車駐車場管理運営事業		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	交通安全啓発事業		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 幼児交通安全教室の開催件数	42	計画値	43	44	45	46	46	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	47	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		ウィズコロナが進む中、徐々に教室の開催件数も戻ってきているとともに、初めて開催した保育園もあったことから、想定よりも上回る事ができた。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児交通安全教室の継続的な実施 ・ 小学生・高齢者自転車競技大会の開催 ・ 中学生に向けたスケアードストリートによる交通安全教室を実施 ・ 放置自転車の継続的な撤去作業の実施により放置自転車台数の減少 ・ 交通安全灯（LED化完了）、道路反射鏡、道路区画線及び自転車ナビマーク等交通安全施設の設置及び維持管理 			
今後の展開	<p>時代のニーズをとらえ、的確な交通安全啓発を実施し、交通安全の推進を図る。</p> <p>放置自転車対策については継続的な事業続行が必要になる。</p> <p>交通安全施設の整備については、経年劣化や交通環境の変化、地域の状況等を踏まえ、適切に対応していく。また、交通安全灯については、民間業務委託による適切な維持管理を行っていく。</p>			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				




6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
交通ルールや思いやりのある交通マナーの意識啓発に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
自転車乗車に関するルール・マナーの徹底や、社会人世代への交通安全対策が課題と捉えており、警察署や交通安全関係団体との協働により、啓発を進めていく。	春、秋の全国交通安全運動時に開催する各種キャンペーンや、小学生・高齢者自転車競技大会等を通じて交通安全に関する意識啓発を進めていく。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署や交通安全関係団体との協働により、小学生・高齢者自転車競技大会を3年ぶりに開催した。 ・ 包括協定を結んでいる事業者の協力を得て、交通安全教室を開催した。 	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	これまで実施してきた協働による取組を継続するとともに、よりよい協働を行うため、課題や反省点について、協働相手と共有しながら進めていく。

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	031	地域安全の推進
総合計画	基本目標 II 基本施策 04	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境） 交通安全・地域安全の推進
めざす姿	防犯カメラなどの必要となるインフラが整備されるとともに、市民一人ひとりが高い防犯意識を持って活発に自主防犯活動を展開するなど、犯罪の起きにくい安全なまちづくりに一丸となって取り組んでいます。	
SDGsとの関連	  	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	75,443,000	71,109,000	93,056,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,618,000	1,809,000	1,762,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	32,000,000			
一般財源	73,825,000	69,300,000	59,294,000			
予算現額	75,443,000	87,841,000	0			
決算額	63,780,595	81,974,159	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	484,000	787,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	63,296,595	81,187,159	0			
執行率	84.5	93.3	0.0			
(人件費)						
職員数	2.26	2.08	0.00			
職員人件費	17,678,972	16,609,701	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	594,942	501,983	0			
総コスト	82,054,509	99,085,843	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 犯罪発生件数	1,450 件	実績 1,114	達成率 86.9	-	0.0	1,282
② 地域の治安が悪化していると感じている市民の割合	11.9 %	実績 14.6	達成率 160.4	-	0.0	9.1
③ 防犯カメラを設置する団体、商店会の数	15 団体	実績 15	達成率 78.9	-	0.0	19
		実績 達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	関東周辺をはじめとした連続強盗事件等が発生しており、治安の悪化が懸念されている状況である。また、特殊詐欺被害についても依然として多く発生している状況である。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	東京都が実施していた自動通話録音機に対する補助が令和3年度をもって終了した。	これまでの取組により、犯罪発生件数は着実に減少している。一方で、特殊詐欺被害については大きな減少には至っておらず、警察署と更なる連携を行い対策を行っていく必要がある。	
市民ニーズ	事件を受け、特殊詐欺や防犯に対する対策意識が高まっていると思われる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	防犯意識啓発事業		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 府中市メール配信サービスの配信件数	56	計画値	60	65	70	75	75	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	126	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		警察からの特殊詐欺のアポ電の情報の配信回数が増加したため														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	安全安心まちづくり推進事業		主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				2			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 防犯カメラを設置する団体、商店会の数	15	計画値	16	17	18	19	19	1	2	3	4	5	6	7	8	
	数	実績	15	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新設ではないものの、1商店会の既存の防犯カメラの耐用年数経過によるカメラの更新に対して助成を行った。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・府中警察署や関係団体と連携し、イベントや情報提供による防犯意識向上 ・各商店会および府中駅周辺への防犯カメラ維持管理費助成 ・防犯リーダー育成、防犯グッズの提供による自主防犯活動の活性化 			
今後の展開	時代のニーズをとらえ、的確な交通安全啓発を実施し、地域安全の推進を図る。被害が続いている特殊詐欺対策に引き続き取り組みむとともに、防犯カメラの適切な維持管理や新規設置を目指していく。また、地域の活力による防犯意識の向上を目指す。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
自主防犯活動の活発な展開に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
地域の防犯力向上を目指すため、イベント等を通じた市民の防犯意識の向上や、自治会等の地域団体が行う自主防犯活動に対する防犯グッズ支援、防犯カメラの設置や管理等の支援を進めていく。	警察や関係団体と協働により講座やイベントを開催し、特殊詐欺等の重点犯罪の被害防止を進めていく。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に防犯活動に取り組む地域団体へ防犯グッズの提供を行うことで支援した。 ・地域安全リーダー講習会を通して、防犯に関して地域で活躍していただく人材の養成を行った。 	協働による実施を検討した	地域安全リーダー講習会に関しては、参加者の高齢化といった課題や、状況に即した講習内容となるよう、協働相手と協議を行っていく。